

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
 ぞなえる…用意する、そろえる、用心する
 防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
 ぞなえ…したく、用意、警戒、防衛
 備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。
 ぞなわる…準備ができる、身に付く
 ●●●ソナエ アレバ ウレイナシク

no. **32**

かわさき
防災広報紙

昭和62年3月31日発行
 発行◎川崎市
 編集◎土木局防災対策室
 〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
 TEL.(044)200-2111内線2841



知る ことは、 備える こと。

「グラツときたら火の始末、そしてわが身の安全」

地震が起きたとき、まず何をすべきか、すでにご存じのことでしょう。

揺れがおさまってから、テレビやラジオをつけてみると、たとえば、次のようなニュース……

「午後10時16分ごろ、関東から東北地方を中心にした広い範囲で地震がありました。各地の震度は、震度5の強震が小名浜、白河、震度4の中震が、水戸・東京・仙台・横浜…。震源地は、福島県沖80km、震源の深さは約50km、地震の規模はマグニチュード6.9と推定されます」

注意して聞いていても、わからない言葉がまじっている、情報を正確に受けとることがなかなか困難です。日ごろから、地震についての知識を正しく理解し身につけておくことは、地震による被害を軽減する上でも、とても大切なことです。

4						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	.	.	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	.	.

毎月15日は川崎市民地震防災デー
 火の元の点検やわが家の安全をたしかめましょう

感じたら、震度2。

さしあたってこれだけは：地震の基礎知識

地震を理解する上で、必要な言葉には、次のようなものがあります。

●マグニチュード(M)

地震の規模を表す単位。したがって、震度が観測地点によってさまざまな値で示されるのに対して、「一つの地震に一つの値だけ」ということになります。

- 大地震 マグニチュード7以上
- 中地震 マグニチュード5以上7未満
- 小地震 マグニチュード3以上5未満

〔関東大地震(大正12年9月1日)のマグニチュードは7.9〕

●震度

地面や建物の揺れ具合を0～7で階級分けした。揺れ具合は、震源からの距離、地盤などにより違うので、観測する地点によって、震度は異なる値で示されることになります。

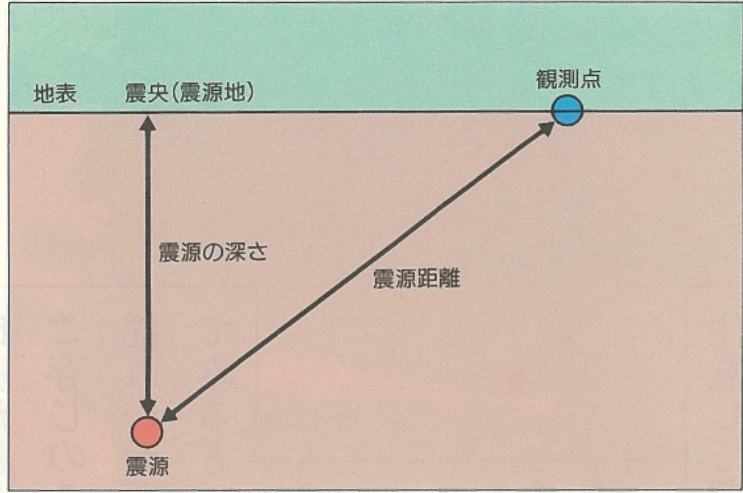
●震源

地震が発生した地点。ふつう、福島沖80km、深さ約50kmというように表されます。

●津波

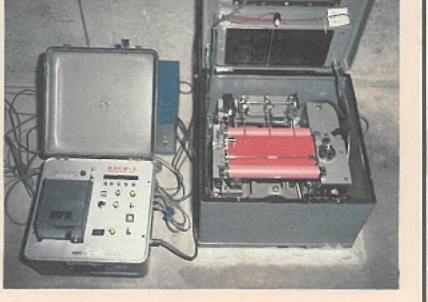
大きな地震が海底で起きると、海面に凹凸が生じ、それが広がり海岸をおそす。マグニチュード7.5を超えると大きな津波が発生する危険があります。

階級	説明	参考事項
0	無感。人体に感じない地震計に記録される程度。	吊り下げ物のわずかにゆれるのが目視されたり、カタカタと音がきこえても、体にゆれを感じなければ無感である。
1	微震。静止している人や、特に地震に注意深い人だけに感ずる程度の地震。	静かにしている場合にゆれをわずかに感じ、その時間も長くない。立っている人は感じない場合が多い。
2	軽震。大げいの人に感ずる程度のもので、戸障子がわずかに動くのがわかる程度の地震。	吊り下げ物の動くのがわかり、立っていてもゆれをわずかに感じるが、動いている場合にはほとんど感じない。眠っている人も目をさますことがある。
3	弱震。家屋がゆれ、戸障子がガタガタと鳴動し、電灯のようにつり下げ物は相当ゆれ、器内の水面の動くのがわかる程度の地震。	ちょっと驚くほどに感じ、眠っている人も目をさますが、戸外に飛び出すまでもない、恐怖感はない。戸外にいる人もかなりの人に感じるが、歩いている場合感じない人もいる。
4	中震。家屋の動揺が激しく、すわりの悪い花びんなどは倒れ、器内の水はあふれ出る。また、歩いている人にも感じられ、多くの人々は戸外に飛び出す程度の地震。	眠っている人は飛び起き、恐怖感を覚える。電柱・立木などのゆれるのがわかる。一般の家屋の瓦がずれるのがあっても、まだ被害らしいものはでない。軽い目まいを感じる。
5	強震。壁に割れ目が入り、墓石・石とうろろが倒れたり、煙突・石垣などが破損する程度の地震。	立っていることはかなりむずかしい。一般家屋に軽微な被害が出はじめる。軟弱な地盤では割れたりくずれたりする。すわりの悪い家具は倒れる。
6	烈震。家屋の倒壊は30%以下で、山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人が立っていることができない程度の地震。	歩行はむずかしく、はわないと動けない。
7	激震。家屋の倒壊が30%以上に及び、山くずれ、地割れ、断層などを生じる。	



防災センター「地震計」

当南部防災センターでは、3台の地震観測記録計を使って、常時地震観測を行っています。写真右側は、強震計で、震度3以上の地震を赤い記録紙に記録します。左側の地震計は、それ以下の地震をカセットテープに記録します。また、もう一台の地震計は、4月から運用される、防災無線に組み込まれているもので無線統制室にデータを送る観測機器です。防災センターでは、このように24時間体制で地震災害に備えています。あなたも一度防災センターを見学されてはいかがでしょうか。



●ご利用、ご見学のお問い合わせは
川崎市南部防災センター
川崎市川崎区小田7-3-1
TEL.355-2175
交通=国鉄川崎駅中央口14・21出入口1番のりば 臨港バス富士電機行き小田小学校前下車徒歩6分

地震の心得——レッスン④

「避難は徒歩で、持物は最小限に」

地震による大震災のため避難をするときは、消火・救急救護活動などの障害となるので自動車は絶対に使わず、必ず徒歩で避難しましょう。また、持物は最小限にとどめ、背負うなどして身軽に行動できるように、両手をあけておきましょう。

「防災訓練のお知らせ」ポスター作成

防災訓練のお知らせ

町内会 自治会

- 日時 月 日() 午後 時 分から
- 場所
- 内容

毎月15日は川崎市民地震防災デー

川崎市

「おい、逃げよう」

私の住んでおられますところは、伊豆東海岸で、平日頃は静かな景色のよいところ。すぐ前は海で、真正面に大島が浮かんで見え、夜は漁火に輝く等と、冬でも暖かな国道沿いです。その日は、午前9時10時頃までに、213回の前ぶれがありました。大した事もないと割合平気な気持ちでテレビを見ておりましたところ、又クラーとゆれて、家のきしむ音、ゆれ具合が違ふぞと思ふ間もなく、棚からバターバターと落ちて来ましたので、これはこれだと思い、「おい、逃げよう」と言葉を残し、窓から庭へ飛び下りて玄関前へ足をのせる、その時「みじみじ」とコンクリートがひび割れて、とても不吉な予感が全身に走りまわりました。二歩、三歩とすぐ前の国道へとび出ると、舗装が「ピシーピシー」と幾筋もひび割れ、測溝が「ガクガク」と沈下、向い側の生垣の玉石がころころと落ちて、道路端の石の地蔵様がころがり落ちる、そんな光景が目に見える中を向いのホテルの駐車場の広場へ走り出しました。その時、大地が裂け2筋3筋と長く走り、海側が4、50m位陥没した。私は立っていても不安でした。家を振り返ると、妻はまだ玄関前でしたので、「早く来い」と大声で呼んだ。その時一段と大きくゆれ、異様な風

体談 32
1987年伊豆大島近海の地震(静岡県提供)
東伊豆町 井熊平八郎さん

が吹き、裏山は無気味にゆれ、瞬間轟音と「パリーパリー」とガケ崩れ、30米位の幅で2筋こちらへ落ちて来ました。ウアアアアア」と思わず口はばらした。右側の中程(高さ10m位)から、すごく大きな石がいくつもまるでゴムマリでもとぶ様に猛烈な勢いで落ちて、有料道路・その下の国道に向けて、ブシュー、クシャー、プスと何ともいえない音でガケ下に転がっていった。私の立っているところから、3、40米先へ、(この時心のすみに、通りがかりの自動車でもなければよいがと、もう1筋は我が家の真裏へ土砂が流れて来る。土埃と木の葉が舞い上る、まるで映画等で見ると山崩れのようなシーンで、血の気も引き、身の毛もよだつ、心臓も止まる思いで、只呆然として声も出ない程でした。どの位の時間でしたでしょうか。落石の1つがホテルの玄関前へどっかと20m位、今尚見学の人の目を見はらせておられます。

あの恐ろしい光景がその後度々の予震におびえ、全く胃も痛む思いましたが、最近やっとおさまりました。

私の生涯に2度と再びこんな事がない様に祈りながらペンを取った次第です。

※伊豆大島近海地震 昭和63年1月14日12時24分発生、震源：伊豆半島東方約15km、深さ：10km(ごく浅い) マグニチュード：7.0、死者25人、負傷者139人